

■ 規格および性能

高圧進相コンデンサの規格はJIS4902に準拠しています。

容量許容差 -5%~+10% 相間不平衡率 ±3%

耐電圧 端子相互間 定格電圧×2倍 1分間
端子一括箱間

3300Vに対し16000V 1分間

端子一括箱間

6600Vに対し22000V 1分間

誘電正接 20℃において 0.1%以下

絶縁抵抗 端子一括箱間 1000MΩ以上

密閉性 80℃で8時間放置しても油洩れせず

使用温度 40℃以下

温度上昇 定格容量で連続運転した場合の外箱壁の最高温度で25℃以下

放電特性 印加電圧開放5分間後で50V以下

■ 定格寸法表

周波数 (Hz)	容量 (kVA)	寸法 (mm)				概略寸法 (kg)	図 No.
		B	E	F	M		
50 (60)	10 (12)	110	477	370	—	16	4
	15 (18)	110	477	410	—	18	
	20 (25)	110	477	410	—	18	
	30 (36)	110	477	470	—	22	
	50 (60)	130	500	520	520	30	
50	75	130	500	620	520	38	5
	100	130	500	740	520	47	
	150	150	620	740	640	68	
	200	150	820	740	840	91	
	250	150	820	880	840	113	
60 (50)	10 (8.3)	110	477	370	—	16	4
	15 (12.5)	110	477	370	—	16	
	20 (17)	110	477	410	—	18	
	30 (25)	110	477	440	—	20	
	50 (42)	130	500	480	520	27	
	75 (63)	130	500	560	520	33	5
	100 (83)	130	500	670	520	42	
	150 (125)	150	620	670	640	60	
	200 (167)	150	820	670	840	80	
250 (208)	150	820	880	840	113	5	
300 (250)	150	820	1000	840	132		

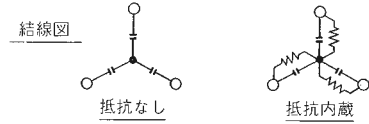
(注)①30kVA以下は吊手がついていません。

②アース端子を右に見た時、手前側にkVAと電圧、反対側に社標を表示しています。

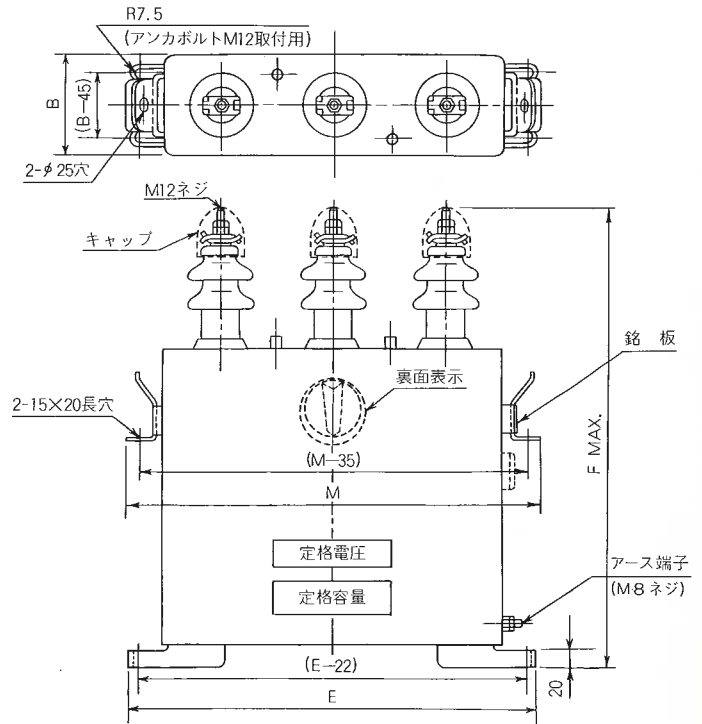
③図中()内の数字は取付寸法であります。

④表において周波数、容量欄に()表示をしていますのは周波数共用品であります。()内の周波数で使用するときは()内の容量になります。

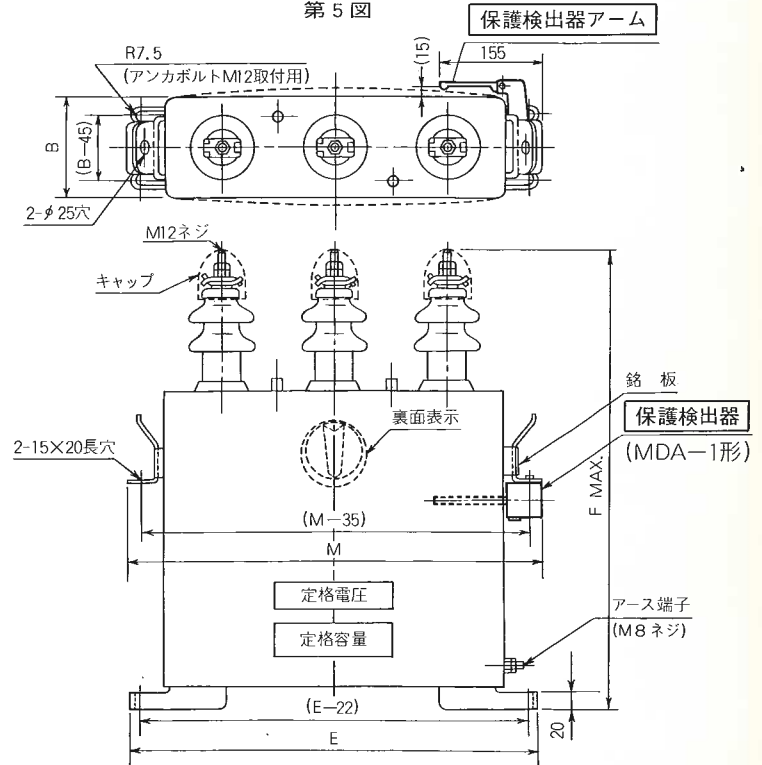
■ 単器形外形寸法図



第4図



第5図



(注)保護検出器はコンデンサ設置時に取り付けて下さい。取り付け方法は「コンデンサ保護検出器MDA-1形取扱説明書」をご参照願います。